

12【概要】石岡市学校給食センター個別施設計画

■基本的な考え方

- 石岡学校給食センター、八郷学校給食センター共に存続を基本とするが、存続在りきではなく、児童生徒数の変化の状況、小中学校の統合再編によるコンテナ数と配送ルート・台数増減、同規模市町村事例等参考にし、費用対効果を含め統合も詳細に検討する。ただし、児童生徒の“食”の安心安全は最優先する。

学校給食センターは、学校給食法の目的である、児童及び生徒の心身の健全な発達に資するものであり、学校給食の普及充実及び学校における食育の推進を図るため、施設を維持運営していくことが必要である。現状では、配食時間、ルートを考慮すると、石岡・八郷共に存続しなければならない。

ただし、将来、学校再編の状況を鑑みると、配食ルートの変更により配食時間も変わると考えられる。

そのため、人口減少による学校再編に対応するため、2施設を維持しつつ継続的に集約化の検討を続けていく。

- 石岡学校給食センターについても民間との連携を図り、調理委託について継続検討を行う。ただし、食の安全な提供、並びに学校給食の目標を達成することを第一とする。

1. 対象施設

	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)	備考
1	石岡学校給食センター	正上内16番16号	2,513.92	平成19	S造	
2	八郷学校給食センター	須釜1300番地7	1,580.00	平成14	S造	
合計			4,093.92			

2. 計画期間

2020年度から2029年度までの10年間。

3. 対策の優先順位の考え方

優先順位①中規模改修（現状回復）を実施する。

優先順位②食器や備品、機器等の更新を行う。

4. 個別施設の状態等

安全性：2施設とも耐震安全性は確保されている。

・どちらの施設も比較的新しく、建築物としての大きな問題は見受けられない。

・給食センターで利用する備品、機器等は8年が耐用年数であり、部品は製造終了から10年しか作られないため、購入からリースへの転換も検討する。（現在一部10年リース）

5. 対策内容と実施時期

	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
石岡								中規模改修		
八郷				中規模改修						

6. 対策費用

石岡学校給食センター 中規模改修 66千円×2513.92㎡=165,919千円

八郷学校給食センター 中規模改修 66千円×1580.00㎡=104,280千円

10年間で2施設における機器更新費用（リース含む） 367,493千円

※「石岡市公共施設白書」のコスト試算で用いた地域総合整備財団の更新費用試算ソフトの共通試算条件の更新単価（大規模改修費用の単価）及び計算式（下記参照）を使用した10年間の更新費用。ただし、健全化調査や設計費用等は含まない。

7. 今後の対応方針

- 施設については中規模改修（現状回復）を行いながら、2施設を維持する。
- 機器類については購入ではなく、リースも検討を行い、安全な調理を行う。
- 学校再編の進捗を確認しながら、配食ルート・配食時間を検討する。
また、将来ビジョンとして、市内における公平な給食の提供を目指し、2施設から1施設への集約化を継続して検討していく。
- 運営方法については民間活力を活かすため、調理委託について継続的に検討していく。